

釜ヶ崎解放 722

全国日雇労働組合協議会
釜ヶ崎支部 釜ヶ崎日雇労働組合
電話 (6-632-4273)

4.21 宝塚市生きつめ労災事故死= 手抜き工事の清算はかる、事故現場の工事再開=宝塚市・市橋組・徳山組の居直りをせたい許すな!

居直りつづける殺人行政・殺人業者三思い知らせる。7月末集中斗争に決起せよ!

仲岡たちノ4月21日の宝塚市長尾山公園の雨水排水管工事における、手抜き工事での2名の仲岡の生きつめ労災事故死に対する、「責任追及、責任明示、安全対策確立」の闘いもついに二二えた。

宝塚市当局と市橋組は、手抜き工事の責任に居直り、責任の清算をはかる。事故現場の工事再開を、7月3日ホリを導入して強行したのだ。まさに、「労作者が手抜き工事でも、工事さえ終わればよい」と宣言するものだ。

昨年ノ年間で、全国で千百六人の仲岡のいのちが、建設現場でつぶれていく。実に二昨年に比べて4割減、全産業の4割を占めている。しかも、今年に入ってから

らも、4月21日の宝塚、5月23日の川崎と、手抜き工事による死亡事故が激発しているのだ。

仲岡たちノ宝塚の闘いは、二つした手抜き工事による、わしらの虐殺に対して「労作者を殺して居直ればどうなるか」を、宝塚市、市橋組など殺人行政、殺人業者と、国家権力、建設独占に思い知らせる闘いだ。仲岡の虐殺に対する怒りは、オ2、オ3の生きつめ事故をさせない闘いとして、徹底して奴らに思い知らせなければならぬ。

仲岡たちノ居直りつづける殺人行政、殺人業者に思い知らせる。7月末集中斗争にだん二決起せよ!